

## 「OPEN SITE 6」企画決定！



あらゆる表現活動が集まるプラットフォームの構築を目指し、2016年より始まったトーキョーアーツアンドスペース（TOKAS）の企画公募プログラム「OPEN SITE」の2021年度実施企画が決定しました。

2021年2月から3月にかけて実施した公募では153企画が集まり、書類審査と面接審査を経て展示部門4企画、パフォーマンス部門3企画、dot部門2企画を選出しました。さらにTOKAS推奨プログラムと普及プログラムを加えた全11企画を、2021年10月から2022年1月まで2会期にわたり開催します。ジャンルを超えた創造の場にご期待ください！

**開催概要** ※新型コロナウイルスの感染状況によって、実施内容が変更となる場合があります。

プログラム名： OPEN SITE 6  
実施期間： Part 1 2021年10月16日（土）～2021年11月21日（日）  
Part 2 2021年12月4日（土）～2022年1月16日（日）  
会場： トーキョーアーツアンドスペース本郷（東京都文京区本郷2-4-16）  
休館日： 月曜日（ただし1月10日は開館）、1月11日、  
年末年始（2021年12月27日～2022年1月3日）  
主催： 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館 トーキョーアーツアンドスペース  
ウェブサイト： [www.tokyoartsandspace.jp/](http://www.tokyoartsandspace.jp/)

**募集概要** ※今年度は新型コロナウイルスの感染拡大を受け、応募対象を日本国内在住者に限定しました。

募集期間： 2021年2月25日（木）～3月24日（水）  
応募総数： 153企画  
審査員： 小林晴夫（blanClass ディレクター）  
桜井圭介（音楽家、ダンス批評）  
畠中実（NTT インターコミュニケーション・センター[ICC] 主任学芸員）  
近藤由紀（トーキョーアーツアンドスペース プログラムディレクター）

< お問い合わせ >

〒135-0022 東京都江東区三好4-1-1 東京都現代美術館内

トーキョーアーツアンドスペース（公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館）

広報担当：市川、武智

TEL：03-5245-1142 FAX：03-5245-1154 E-mail：press@tokyoartsandspace.jp

## ■ 実施企画

- ◆「OPEN SITE 6」では、企画の内容に合わせて3部門の実施形態を設定しています。
- ◆各企画のタイトル等詳細は変更となる場合があります。

### 【展示部門】

開館時間内（11:00 - 19:00）であればいつでも入場できます。入場無料。

各会期初日には公募審査員をゲストに迎え、オープニング・トークを実施します。

Part 1   2021年10月16日（土）～11月21日（日）	
企画者	楊 いくみ
企画名	「When I quit eating tomato」
概要	身体が存在／不在を起点としたパフォーマンスインスタレーションを展示する。ある架空のコミュニティの“半屋外生活空間”を提示し、人が共在することから生み出される多次的なパースペクティブについて模索する。
企画者	金 仁淑
企画名	「A letter from Seongbukdong(仮)」
概要	ジェントリフィケーション（都市の富裕化現象）が進むソウル市にある城北洞という街を舞台に制作した映像インスタレーションを展示。「個」の概念を家族、そして地域へと拡張し、街のコミュニティが家族のような関係を築くことについて考察する。
Part 2   2021年12月4日（土）～2022年1月16日（日）	
企画者	エレナ・ノックス
企画名	「Actroid Series II」
概要	簡単な会話や受付業務を行うロボットや、バーチャルアシスタントに焦点を当てたインスタレーションを発表する。生身の男性の眼差しを埋め込んだ女性型ロボットのデジタルポートレートを用いて、女性的に見せかけたテクノロジーによる父権的な監視社会の密かな乗っ取りを検証する。
企画者	ハラサオリ
企画名	「Odd Apples」
コラボレーター	kishi yuma (AIアーティスト)
概要	現代社会における「身体の集合性」をテーマに、日常生活や舞台上での集団的な動き、ユニゾンについて研究する。本展ではリサーチの一部として、人工知能に特定のダンサーの動きを学習させ、細かな癖や佇まいの解析を数値化、再構成させた映像インスタレーションを発表する。

## 【パフォーマンス部門】

会期中、特定の日時に上演します。鑑賞には事前予約と入場料が必要です。

実施日程や入場料金、予約方法等の詳細は、後日 TOKAS のウェブサイトおよびチラシにて発表します。

Part 1   2021年11月16日(火)～11月21日(日)	
企画者	スペースノットblank (代表: 小野彩加、中澤 陽)
企画名	「クローズド・サークル」
演出	小野彩加、中澤 陽
出演者	古賀友樹 他
概要	制作の過程でクリエイションメンバーが発した言葉を集積し、編集したテキストをもとに構成されるスペースノットblankの舞台作品の制作手法を起点に、テキストの意味伝達の可能性に着目した新しい上演形態を探究する。
Part 2   2021年12月7日(火)～12月12日(日)	
企画者	KYICC 2021 Committee (代表: 樋口鉄平)
企画名	「米田恵子国際作曲コンクール」
出演者	樋口鉄平、井上郷子、坂本光太、溝淵加奈枝、ルツィエ・ヴィッコヴァ
概要	架空の芸術家「米田恵子」を記念した国際作曲コンクールを実施。一般に公募を行い、演奏会形式の本選会を行う。「米田賞」という名誉／賞金の授与により、文化や資本の再分配という側面を持つコンクールの演劇性・虚構性を提示する。
Part 2   2021年12月14日(火)～12月19日(日)	
企画者	敷地 理+早川葉南子
企画名	「dragging (仮)」
出演者	敷地 理、早川葉南子、他数名を公募にて決定
概要	権力者の銅像を押し倒し引きずるドラッグングに着目し、ダンスというメディアをとおして「どのように個人が集団になるか」を思考する。TOKAS、路上、オンラインでパフォーマンスを同時進行し、それぞれの場の異なる性格を浮かび上がらせる。

## 【dot】

会期中、特定の日時に実施します。入場無料。

Part 1   2021年10月26日（火）～11月4日（木）	
企画者	OLYMPICNIC（代表：寺田衣里）
企画名	「OLYMPICNIC MUSEUM」
出展者	寺田衣里、森山晴香
概要	スポーツ・文化・歴史・政治などの観点から、オリンピックを見つめ直すプロジェクト。日本オリンピックミュージアムの展示方法を参照しながら、これまでの活動記録や制作物を展示し、オリンピックやスポーツにおける「観客」の意味を再考する。
Part 1   2021年11月9日（火）～11月14日（日）	
企画者	住吉山実里
企画名	「筆談会 これより先、無言」
概要	会場内での一切の発話を禁じ、設置された大きな紙の上での筆談によって対話を行う「筆談会」を開催する。特殊な状況下に置かれた参加者は、言葉や絵を紙に記しながら互いの存在を確認し、新たな身体感覚を発見する。

## 【TOKAS 推奨プログラム】

OPEN SITE 6 では、公募企画に加えて TOKAS 企画によるプログラムを開催します。

開館時間内（11:00 - 19:00）であればいつでも入場できます。入場無料。

Part 2   2021年12月24日（金）～2022年1月16日（日）	
企画者	坂東祐大
企画名	「坂東祐大×文月悠光 二人展（仮）」
コラボレーター	文月悠光（詩人）
概要	かつて「インターナショナル・アンサンブル・モデルン&トーキョーワンダーサイト・アカデミー Vol.6」（2013）に参加し、現在作曲家として多方面で活動している坂東祐大が、同世代の詩人、文月悠光とのコラボレーションにより、実験的なサウンド・インスタレーションを発表。文月による本展のための書き下ろしテキストをもとに、解体された言葉の音、響きで空間を構築する。

※そのほか普及プログラムを10月23日、24日に実施予定。